

# 令和7年度（2025年度）教育の重点

子どもの意思決定・行動選択を促し、主体性をはぐくむ  
《キーワード》

試み ・ 挑戦 ・ 達成感

※「意思決定」とはある行動を自分で決めること。「行動選択」とは意思決定に沿って具体的に行動を実現すること。

## 1 教育課題

本校では、前年度「家庭と連携して子どもの「責任」の意識を育むとともに、意思決定して行動する姿勢を育てる」をテーマとして、授業改善をはじめ、日常生活や行事において子どもたちに主体性を身に付けさせるための指導や支援を行ってきた。

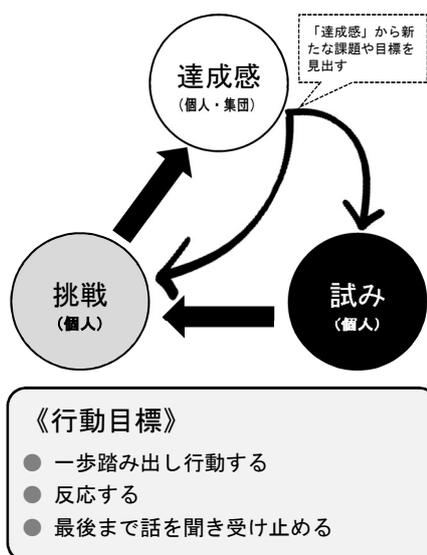
「試み」「挑戦」「達成感」をキーワードに様々な教育活動を一体的に展開し、子どもの主体性をはぐくむよう取り組んできた。右図のように「試み」は、「挑戦」「達成感」の取組を進めるための「学びの土台」となるもので、日常生活の様々な場面で子ども（たち）が物事に対して「自分事」として取り組む（「責任」を意識する）経験を重ね、「挑戦」「達成感」の段階での学びに向うための力を養うものとして位置付けてきた。

特に「挑戦」については、研修部が中心となって進めてきたテーマ「自分らしさを生かし、ともに学ぼうとする子どもの育成」のもと、「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実に向けて授業改善が着実に進んできている。また、「達成感」では、運動会や学習発表会などの行事を中心に子ども（たち）が目標に向かって取り組み、事後の振り返りの中で反省を生かして次の目標をもつ様子も見られるようになってきている。しかし一方で、「試み」においては、学校評価の結果からわかるように家庭での準備や後片付け、基本的な生活習慣など、子どもが自ら生活を改善・向上させようとする意識的な行動は増えつつあるが、十分とは言えない状況である。

学校生活全体において、子どもたちに主体性の伸長の兆しがあることから、引き続き「試み」を「挑戦」「達成感」の取組を進めるための「学びの土台」と位置付け、あらゆる場面において主体性を身に付けさせるための指導や支援を行っていく考えである。とりわけ前年度においては『「責任」の意識を育む』としていたところを、「意思決定・行動選択を促す」ととらえ直し、具体的な手立てを講じやすいように工夫することとした。

### (1) 「試み」

家庭や地域団体等と連携し、日常的に児童が自分でやるべきことや向



き合うべき課題を意識し、意思決定・行動選択して「一步踏み出し行動する」(成功と失敗の積み重ねる)機会を増やしていくことが必要である。

- R6 不登校傾向にある児童：2名※12月末現在（前年度12名）
- R6 学校評価（後期）
  - ▶「お子さんは片付けや学校の準備など身の回りのことを自分でできる」  
保護者 74.4% ↑（前期 70.8%） ⇒ 目標：80.0%以上
  - ▶「ゲーム、スマホなどはルールを決めて守っている」  
保護者 64.3% ↑（前期 57.5%） ⇒ 目標：70.0%以上
  - ▶「進んで体を動かして運動したり遊んだりしている」  
児童 88.4% ↑（前期 87.9%） ⇒ 目標：90.0%以上

## （2）「挑戦」

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指す中で、課題解決や目標達成に向けて「自己選択」「自己決定」して取り組む機会をさらに増やしていくことが必要である。

- R6 全国学力学習状況調査（質問紙）
  - ▶「授業では、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていた」  
78.7%（全国 84.3%） ⇒ 目標：全国平均以上
  - ▶「授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」  
72.1%（全国 81.9%）差 9.8 ポイント ⇒ 目標：全国平均以上  
（昨年度 64.3%（全国 78.8%）差 14.5 ポイント）
- R6 学校評価（後期）
  - ▶「友達と話し合う活動を通じて、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていた」  
児童 85.6% ↑（前期 82.2%） ⇒ 目標：90.0%以上
- 所見
  - ▶研究テーマ「自分らしさを生かし、ともに学ぼうとする子どもの育成」のもと、「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実に向けて授業改善が着実に進んできている。  
R6 学校評価（後期）「勉強して『もっとできるようになりたい』『わかるようになりたい』と思う」児童 96.1% ↑（前期 95.6%）

## （3）「達成感」

自分（たち）の願いや実力を踏まえて目標を設定させ、他者と合意形成を図り目標達成に向けて取り組ませる指導の充実が必要である。

- R6 全国学力学習状況調査（質問紙）
  - ▶「学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」  
80.3%（全国 82.5%）差 2.2 ポイント ⇒ 目標：全国平均以上  
（昨年度 60.7%（全国 75.7%）差 15.0 ポイント）
  - ▶全国学テ「友達や周りの人の考えを大切にして、互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」  
83.6%（全国 91.6%） ⇒ 目標：全国平均以上
  - ▶「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」  
82.0%（全国 84.2%）差 2.2 ポイント ⇒ 目標：全国平均以上  
（昨年度 76.8%（全国 77.2%）差 0.4 ポイント）
- 所見
  - ▶運動会や学習発表会などの行事を中心に子ども（たち）が目標に向かって取り組み、事後の振り返りの中で反省を生かして次の目標をもつ様子が見られるようになってきている。

## 2 教育実践のポイント

### (1) 「試み」(個人)

家庭や地域団体等と連携し、日常的に児童が自分でやるべきことや向き合うべき課題を意識し、意思決定・行動選択をして「一步踏み出し行動する」(成功と失敗の積み重ねる)機会を増やす。

- ▶規則正しい生活習慣の確立や定着、手伝いの励行など、家庭に対して必要な情報提供やアドバイスに努める。
- ▶学校生活全体を通して、自分の役割や望ましい行動を考えさせ、選択肢を与えながら意思決定・行動選択できるよう支援する。
- ▶地域が主体となった行事や取組において、目標や課題意識をもたせて意思決定・行動選択を促す。

「責任」の意識を育てる

「『責任』とは選択に対して負うもの」であることを学ばせること

家庭・学校・地域で

結果を問わない「意思決定・選択行動」の積み重ね

習慣化

自信や前向きな気持ちの醸成

「挑戦」「達成感」の取組を効果的に

#### 《参考》

- 自分で選んだという自覚のない子供には責任感はやつたない ← 親や先生の指示やアドバイスどおりにやっただけ=失敗やできなかったことを人や周りのせいにする。(責任転嫁)
- 指示待ちの姿勢(たとえ指示が誤っていても指示どおりに実行する) ← 指示にない行動を選択する能力が身に付いていない。

(「子ども六法の使い方」山崎聡一郎 著 弘文堂)

### (2) 「挑戦」(個人)

校内研究として「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指す中で、課題解決や目標達成に向けて「自己選択」「自己決定」して取り組む機会を増やす。

〈研究主題〉 自分らしさを生かし、ともに学ぼうとする子どもの育成(2年目)

サブテーマ ( 検討中 )

- ▶学習でタブレット端末を活用するなどして学習の進捗や習熟度を把握させ、ふさわしい課題や興味のある内容を選択して取り組むことができるよう指導する。(個別最適な学び)
- ▶「反応する」「最後まで話を聞き受け止める」ことを心がけ、相手との考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして考えをまとめることができるよう指導する。(協働的な学び)
- ▶自分の健康や体力に関心をもたせ、選択肢を与えながら意思決定・行動選択して体育的な取組等に臨むことができるよう支援する。

校内研究

「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実

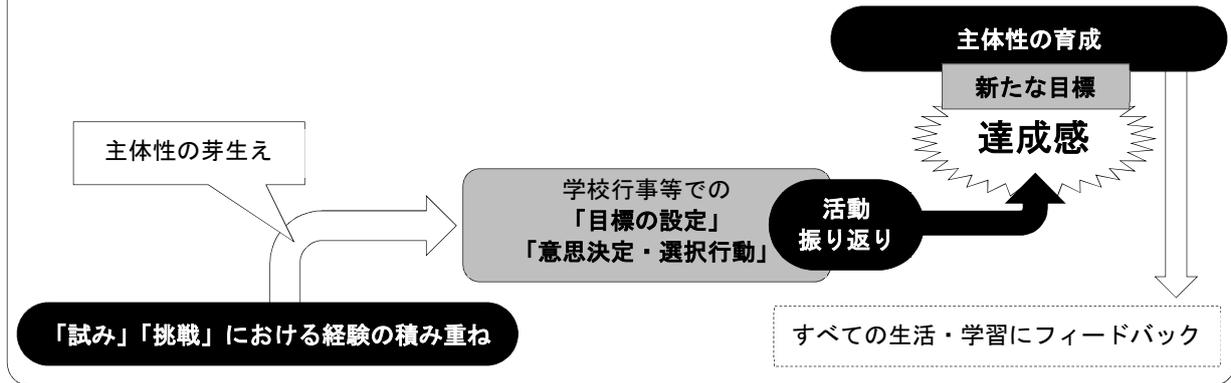
「自己選択」「自己決定」による学びの機会の設定

授業改善

### (3) 「達成感」(個人・集団)

自分(たち)の願いや実力を踏まえて目標を設定させ、他者と合意形成を図り目標達成に向けて取り組ませる指導の充実を図る。

- ▶学校行事等において自分(たち)で目標を設定し、他者と良好な関係性を築きながら目標達成に向けて取り組めるよう指導・支援する。
- ▶「反応する」「最後まで話を聞き受け止める」など話し合いを円滑にするための方法を指導する。
- ▶振り返り活動で行動や結果の内省を促すことによって、達成感を味わわせ、さらなる目標を見出せるよう指導する。
- ▶PTAや地域が主体となった行事や取組への参加を奨励する。



### 3 指導等での留意点

「意思決定・行動選択」に関わる個人的な要因と環境的な要因について、次のとおり整理した。これらの要因が良好な状況であれば、意思決定・行動選択を促すための指導や支援がより効果的になることが期待できることから、日ごろから児童はもとより、保護者や関係者などとの信頼関係を大切にするとともに、教師として必要な力量を高め、発揮していくことが重要である。

#### ●個人的な要因

- ▶体験や経験
- ▶自信や前向きな気持ち
- ▶好奇心や興味関心、心の安定(安心感、感情のコントロール、自己肯定感)
- ▶個人の価値観や習慣

#### ●環境的な要因

- ▶家庭での習慣やしつけ
- ▶友だちの関わり、学級の雰囲気
- ▶保護者の考え方や価値観
- ▶地域の慣習、大人の関わり